

介護の基本 I

担当教員 水上 幸代

配当年次 1年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 2

【授業のねらい】

1. 介護の歴史を踏まえ、介護問題の背景にある課題を理解し、介護にかかわる動向と介護福祉士の役割と機能を把握し介護の原理原則を学ぶ。
2. 介護の社会化の形成過程の理解から介護福祉士の役割と活動について学び、専門職としての自覚を深める。
3. 専門職としての介護福祉士の自覚と実践を展開できる視点と方法を身につける。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	介護の歴史（介護福祉の形成を学ぶ意義）
2	日本における介護の成り立ちから介護福祉形成の背景
3	日本における介護の成り立ちから介護福祉形成の背景（明治・大正時代）
4	日本における介護の成り立ちから介護福祉形成の背景（戦前・戦後）
5	日本における介護の成り立ちから介護福祉形成の背景（老人福祉法制定）
6	介護福祉を取り巻く近年の動向（新介護システム ADLとQOL）
7	介護福祉を取り巻く近年の動向（自立支援に向けた尊厳と自己実現）
8	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ（介護福祉士資格成立前史）
9	介護福祉士の役割と機能（社会的役割としての介護ニーズ）
10	介護福祉士の役割と機能（法的資格への期待）
11	介護福祉士の役割と機能（史的における介護福祉士の役割の理解）
12	介護福祉士の役割と機能（求められる介護福祉士に向けた知識・技術修得の意義）
13	介護福祉形成の理解①〈演習〉（「介護」の見方・考え方の変化）
14	介護福祉形成の理解①〈演習〉（社会的に求められる専門的な介護）
15	介護福祉形成から今後の介護福祉士の役割と課題

【履修上の注意事項】

授業後の復習、授業前の予習を行うこと

【評価方法】

期末試験 80% 提出物 5% 授業態度 5% 取り組み状況 10%

【テキスト】

介護福祉士養成講座編集委員会『介護の基本 I』『介護の基本 II』中央法規 最新版

【参考文献】

講義のなかで、適宜紹介する。